

2024年（一社）日本ITFテコンドー協会理事会議事録

2024年2月23日

2024年2月23日（金・祝）に行われた理事会の議事録をここに記します。

議題1）理事会の有効性

出席者：岸理事長、金理事、豊永理事、原田理事、清水理事、大竹理事、佐々木理事
理事7名全員の参加をもって、本理事会を有効といたします。

議題2）2023年会計報告

- ・問題無し。
- ・監査にも同資料を送ること。

議題3）2024年予算案

- ・IICで約40万円の赤字を予定。
- ・ヘッドコーチの旅費は今後は固定で予算に入れる。目標としてはコーチ2名分も捻出。（決議1）

議題4）年間スケジュール

- ・各エリアから決まっているものをいただく。

議題5）各エリア現状報告

【関東】

- ・六本木道場閉鎖。
- ・人数に増減は無し。
- ・指導層が育っていない
- ・正直上の人間は上の仕事をしたいが現場で動ける人がいない、手伝いくらいならまでやってくれるという感じ。
- ・大学生は東京にずっといてくれない。大学卒業後に出ていくので安定しない。

【中部】

- ・会員数は約800名ほど。コロナ禍に中でも200名ほど増加。
- ・大会の参加人数はコロナ以来回復しない。

【関西】

- ・ 村長師範が体調不良のため大正道場が閉鎖。
- ・ 宇山副師範の住吉道場で吸収、堺市で道場を開設。

議題 6) 役員、理事の再選出

来年が更新の時期のため、今期は無し。

議題 7) 各エリア議題

<中部エリアより>

(提案) アディダス道着の日本のインターネットサイトでの購入の禁止

金理事 : 背中の文字はオリジナルじゃないよ。股がみが広い、横蹴りが綺麗にならない。それはあまり良くないよと言う空気感はある。ロゴが違う。基本は道場内で購入。

大竹理事 : 試合と審査では NG。

佐々木理事 : 大竹理事とほぼ同意見。入会の時点で言うことが大事。

原田理事 : 入会時にアディダスはロゴが違うのでダメとは案内。ノンオフィシャルについてはどうするか。

清水理事 : 禁止で良いかと思います。シンプルに。

豊永理事 : こちらがメーカー指定する。ノンオフィシャルのグッズについては問題無し。

アディダス道着の日本のインターネットサイトでの購入は禁止で決定 (決議 2)

追加で以下の議論も成されました。

豊永理事 : 色も赤と青に指定→ルールブックに記載

全員 : マウスピースも透明で統一。

協会主催の大会において防具は手足は赤と青に統一、マウスピースも透明で統一 (決議 3)

(提案) 全日本の大会運営について

①セコンドの条件を同じ道場の方に限定する (新人戦も)

→道場での繋がりを大切にしてほしいということで可決。

協会主催の大会のセコンドの条件は同じ道場の方に限定する。ただし同じ道場の方がいない場合は同じ県連の方、それでもいない場合は他の県連の方が付くこと。

(決議4)

②敢闘賞の設立

→階級不成立のために MVP を狙えない方が出てくる。そのために新設を提案。

→基準は別途議論。

→賞の名前は別途議論。

→該当者無しもある。

→問題無しで可決。

全日本大会について MVP 以外の賞を新設 (決議5)

③全日本大会に限りヘッドギアもオフィシャルを義務化

→問題無しで可決。

全日本大会についてヘッドギアもオフィシャルで義務化 (決議6)

④ツール競技において世界選手権に合わせて1人ずつ演技する

→時間の許す限り対応する。

中部テコンドー連盟理事会の決議内容の報告と展開

事前資料として中部テコンドー連盟の議事録を提出済み。

ファイル名：20240204 資料：中部テコンドー連盟理事会議題

ファイル名：20240205 議事録：中部テコンドー連盟理事会議事録

上記はいずれも中部テコンドー連盟にて保管。

①鈴木副師範への副師範降格のご依頼

金理事：他の組織には倫理委員会がある。案としてまずこれを設置する。倫理規定を作る。任命責任を持てる人が委員会を行う。しかし理事会のメンバーとなると当事者が入るので良くない。第三者が判断。

佐々木理事：上記の仕組みはいろんな組織が行っていることで今後必要。両者の意見を聞いてから最終的な判断をした方が良い。

原田理事：上記と同様。

豊永理事：生徒への影響を考えるとワンクッション入れる必要がある。始末書的なもの。

金理事 : 急が付くものは辞めた方が良いのでは。しかし直らないと思う。
佐々木理事 : 念書を書いてもらうことは必要。
金理事 : 期間限定にする。
忠岡会長 : 弁明書を書いていただき、何が問題となっているのか明確にしておくべき。
清水理事 : 倫理委員会で設置することで対応する方が良い。

- ・まずは彼の言い分を聞く。
- ・反省の弁があるのであれば軽微な対応、無ければ考える。

・倫理委員長を金副会長、委員は当事者以外の理事
金副会長が聴聞。
その対応によって今後の進め方を決定。

- ・倫理委員会に事案によって理事が担当
- ・第三者も入れる

金理事が倫理委員長として倫理規定を起案、その後各理事の意見をまとめて完成させる
(決議7)

②稲垣さんに対する対応について

金理事 : こちらからは見えない。
佐々木理事 : 問題を起こしそうなタイプではあるかなと。
原田理事 : 本人の性格を書面で汲み取るのは難しい。
豊永理事 : コンセンサスを取るのは当たり前。
佐々木理事 : 出禁理由を残しておくのが必要。言い訳に対するエビデンスを残す。
岸理事長 : 今回お願いしたいことは人間性の判定ではなく中部にて起きた問題の抜け道を他エリアにて可能になると組織としてコンセンサスが取れていると言えない点で、中部で問題ありとされた問題対して信頼を持ってコンセンサスを取って欲しい。人間性の判定は現場でなければ難しい。

【対応】

- ・理事長の名前で理由を述べた上で各道場長に提示。もしくは岸が道場長として県連、協会の理事会の決定事項を本人に伝達 (決議8)

- ・コンセンサスは取っていただけることで合意（決議9）

8) その他

①会則の整備（岸理事長より）

金師賢からの依頼にてホームページに載せている会則を今の現状に合ったものに更新します。また後日ご確認をお願いします。

②ホームページ業者を変える

（元々担当が鈴木副師範の運営する業者ということもあって）①の流れからホームページについての話になる。

清水理事：あり得ない金額です。

大竹理事：競争なので仕方ない。

ホームページ業者を変える方向にて動くこと（決議10）

③IIC-JAPAN について（岸理事長より）

現状としては海外からのインバウンドを見込める状況。台湾から8名、オーストラリアから9名、フィンランドからミッコさんが来てくれるとのこと。

その際にオーストラリアの方はAAの代表のようで、IIC期間中に顔合わせと多少の議論のための会合を設けて欲しいとのこと。

→対応することで合意。

④全日本での感想（金理事より）

- ・体外的な会の序列を理解してほしい。会長が一番上、その下に理事長。
- ・主賓席であり来賓ではない。（地方大会の時は来賓。）

⑤名誉段について（豊永理事より）

ITFのHPに名誉段のルールがある。金子先生がこれに該当するかもしれない。

→岸理事長がルールをチェックして対応。

⑥ヘッドコーチの渡航費用の捻出について（豊永理事）

- ・年会費を1000円上げることも検討が必要。1000円上げるだけで約100万円の利益が出る。

忠岡会長：年会費を上げるために何かノベリティを進呈（極真のように）（案）

金理事：慎重に検討が必要。

金理事 : SNS を上手くやってくれる人が欲しい。道着に広告を乗せる場合の広告料の設定なども必要。

以上、上記の内容に相違ないものとし同意します。

岸理事長	金理事	豊永理事	原田理事	清水理事
				

大竹理事	佐々木理事			
				